

アフリカンキッズクラブ、 アフリカンユースミートアップに出会えて

My encounter with African Kids Club and African Youth Meetup

中田 茉莉

Nakata Mari

私はアジアとアフリカにルーツを持つブラックミックスです。日本で生まれ育ち、周りの人たちと見た目が違うことが嫌でした。小学生の頃にいじめを受けたり、嫌なあだ名をつけられたり。自分の肌の色や髪の毛も嫌いでした。白人ミックスの子はかわいいと言われ、ちやほやされたりするけれど、ブラックミックスはかわいいと言われるより悪口を言われることが多く、ブラックである父親や自分自身のことが嫌になることがありました。

でも、昨年からはまったアフリカンキッズクラブ東海の活動に参加し、今年はアフリカンユースミートアップのオンラインでの会にも参加するようになり、同じようなルーツを持つ人たちに出会えました。

みんなの経験してきたことを聞いて共感でき、私が普段思っていることや悩んでいたことを聞いてもらうことができました。参加する前に比べると、ブラックミックスであることへのネガティブな考えが少なくなりました。何よりももっとブラックの歴史や文化を知りたいと思うようになりました。そして自分自身をもっと大切にしようと思えるようになって、以前より人前で明るくいられるようになり、父親がアフリカ人であるということも良かったと思えるようになりました。

しかし、日本ではまだまだブラックミックスであることはめずらしく、今でも悪口を言われたりして傷つくことがあります。学校で「まりちゃんは肌が黒いから日焼けしなくていいよね」とか、教科書に黒人の写真があると、「まり、教科書に載っているよ」などと中学生になっても言われ、一生言われ続けるものだと思うときもあります。アメリカでの黒人差別抗議デモは学校でも話題になり、気持ちが沈む日が続くこともありました。私も嫌がらせを受けていることを友だちが先生に言ってくれて、クラスで差別についてたくさん話し

合う時間ができたことは、とても良かったと思います。

また学校の作文でも、アフリカンユースミートアップの会で出た話や自分が経験した差別的なこと、差別していないつもりでも無意識にしているかもしれないことを書き、周りの人や友だちに知ってもらって、少しでも差別が減ることを願っていることも書きました。

アフリカンキッズクラブやアフリカンユースミートアップに参加して、最初の頃はあまり意見も言えなかったけれど、何度も参加するうちに少しずつ言えるようになりました。たくさんの先輩から学ぶこともいっぱいあるので、この会を、自分と同じルーツを持つ人たちやそうじゃない人も含め、多くの人たちに知ってほしいと思います。そして差別されたり、自分のことを好きになれずにいたりしている人が、少しでもいなくなるとういと思います。



ダンス、音楽、
おしゃれが大好き

なかた まり：神奈川県生まれ。愛知県在住の中学2年生。好きな有名人は King Gnu (キングヌー)。あこがれの人は Lady Gaga (レディ ガガ)。

アフリカンキッズクラブ東海について

Introducing African Kids Club TOKAI

エバデ・ダン 愛琳 / Evbade-dan Irene

アフリカンキッズクラブ東海（以下、東海キッズ）は、アフリカにルーツをもつ日本で生まれ育った子どもたち（以下、キッズ）のためのコミュニティとして、2019年夏に始動しました。関東で2006年から続いていた活動を、東海地区（愛知・岐阜・三重の3県）にも拡大しました。発起人は、関東のアフリカンキッズクラブ（以下、キッズクラブ）で活動のお手伝いをしてきた私と私の両親、そして20代の仲間たちです。

東京の大学に通っていた頃に出会ったキッズクラブの活動は、まさに私が子どもの頃に切実に欲していた居場所でした。両親や兄弟、同じく東海地区で育ったアフリカにルーツをもつ友人たちにその思いを伝えると、全員が「東海地区でもそういう活動があればいいなあ」と言いました。関東のキッズクラブで学んだノウハウを生かし、ぜひ実現したいと思い、始まった活動です。

昨年度は3回のイベントを開催し、今年度はオンラインでのイベントを2回行い、オンラインでは、関東のキッズクラブやアフリカニュースミートアップ

との共催イベントも開催してきました。昨年度の3回のイベントは、幼児から中学生までのさまざまなルーツをもつキッズたちが集まり、ゲーム、ヘアケア講習、クリスマス会を実施しました。東海キッズでは、子どもたちはもちろん、お父さんたちも積極的に参加してくれています。ナイジェリア、セネガル、日本出身の方など、お父さんたちのルーツもさまざまです。

ヘアケアセッションでは、実際に髪の手入れ方法を学んだ時に、横から「自分の国のやり方はこうだ」とツッコミを入れたり、またクリスマス会では、積極的にゲームを進行したりして、子どもたちを盛り上げてくれました。

今後は、アフリカ諸国の歴史や若者文化、映画やドラマ、文学などを楽しく学べるイベントを始め、キッズのみんながアフリカンルーツに触れられる機会を創出していきたいと思っています。私のような20代、30代の先輩キッズはもちろん、さまざまなルーツの保護者のみなさまと一体となって、みんなで作り上げるコミュニティにしていきたいです。



「ヘアケアデー」のイベントにて 名古屋 2019年11月3日

えばで・だん あいりん：AJF 理事。2015年からアフリカンキッズクラブの活動に携わり、2019年より地元東海でも活動を開始。アフリカニュースミートアップの運営にも携わっている。